

## 新年を祝い、町のさらなる飛躍を誓う 白鷹町新春賀詞交歓会を開催

1月4日、新春を寿（ことほ）ぎ、町政の一層の進展を祈念することを目的とした新春賀詞交歓会がJA山形おきたま白鷹支店で盛大に開催されました。

今年で3年目の開催となった賀詞交歓会。今年も町内外の各界から約160人が出席しました。佐藤町長は「今年は戌年。イヌはお産が軽いと言われていることから、今年は新たに何かを生み出せる良い年となるはず」とあいさつ。出席者は互いに新年のあいさつを交わしながら新睦を深めました。



2018年の飛躍を誓い献杯する出席者

## 文化財防火デー 地域の力で文化財保護！

1月28日、文化財防火デー（1月26日）に合わせ、昨年に茅屋根の改修と消防ポンプ等の更新を行ったばかりの観音寺観音堂（国指定有形文化財）で、観音寺観音堂自衛消防隊総合訓練が行われました。

訓練には、深山観音堂自衛消防隊や消防白鷹分署などから約30人が参加。最林寺秀章住職が119番へ通報し、その後、息の合った迅速な連携により放水が行われました。寒い中での訓練でしたが、参加者は情報伝達や放水手順をしっかりと確認し、地域の宝を守ることへの意識を高めました。なお、1月26日には鮎貝八幡宮本殿（県指定有形文化財）で防火祈願祭が行われました。



訓練に参加した隊員たちによる一斉放水

## 荒砥高校生などが除雪ボランティア 寒さに負けず、せっせと雪かき

1月27日、荒砥高校生と町職員、町小学校教職員が町内の高齢者宅で除雪ボランティアを行いました。

年明けからの大雪による影響を受け、町社会福祉協議会ボランティアセンター（竹田寛治センター長）が参加者を募り、今回は西高玉、西横田尻、山口地区の計8軒で実施。この日も全国的な寒波により時折雪が吹きつける厳しい天候となりましたが、参加者はスコップやダンブ、除雪機を使って雪の山をきれいに取り除きました。参加した高校生は「大変だったけど、人のためになっていると考えると手が止まらなかった。また参加したい」と清々しい笑顔を見せました。



寒い中、黙々と除雪作業をする荒砥高校生